

社会資本総合整備計画（活力創出基盤整備）【第7回変更】

平成27年3月20日

計画の名称	2 国際観光都市（姫路市域）における観光客や住民の移動の利便性・安全性の向上																																			
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）	交付対象	姫路市																																	
計画の目標	交通機関が集中する姫路市中心部は、連続立体交差事業等と併せて街路整備を行い、通過交通や集中交通の効果的な分散化を図るとともに、公共交通機関の利用促進を図り、播磨地域の母都市で世界文化遺産姫路城を核とした国際観光都市としてふさわしい都市基盤形成することにより、中心市街地の賑わいを創出する。 生活基盤を支える市町村道を整備し、最寄の鉄道駅への利便性及び安全性を高めつつ、快適で安心な複数のコンパクトで充実した地域生活圏を形成する。また、この地域生活圏相互や都心部への移動利便性及び安全性の向上を図ろうとするものである。																																			
計画の成果目標（定量的指標）	①・中心市街地における歩行者通行者数を74,635人/日（H21）から85,800人/日（H26）に15%増加 ②・JR姫路駅観光案内所利用者数を348千人/年（H21）から362千人/年（H26）に4%増加 ③・公共交通機関の利用者数（平成20年度）を維持する。 ④・姫路市内の主要交差点（60箇所）の渋滞長合計を73,990m（H20）から70,290m（H26）に5%削減 ⑤・道路交通における死傷事故を平成20年度と比較して約1割削減する。																																			
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H22当初)</th> <th>中間目標値 (H24末)</th> <th>最終目標値 (H26末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中心市街地における休日（4月29日）の歩行者通行量（7箇所の合計）を測定する。</td> <td>74,635人</td> <td>80,000人</td> <td>85,800人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>JR姫路駅観光案内所における利用者数を測定する。</td> <td>348千人/年</td> <td>355千人/年</td> <td>362千人/年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>姫路市内全鉄道駅（30駅）の年間乗車人数及びバス利用者を測定する。 （市内の1日あたり利用者数）＝（市内全駅の年間利用客数＋バスの年間利用総数）／（当該年度の日数）</td> <td>310千人/日</td> <td>310千人/日</td> <td>310千人/日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>姫路市内の主要交差点（60箇所）の朝・夕の渋滞長を測定する。 平成20年 73,990m → 平成26年 70,290mにする。</td> <td>73,990m</td> <td>72,140m</td> <td>70,290m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>姫路市内の死傷事故発生件数を調査する。 平成20年 5,056件 → 平成26年 4,550件にする。</td> <td>5,056件</td> <td>4,803件</td> <td>4,550件</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	中心市街地における休日（4月29日）の歩行者通行量（7箇所の合計）を測定する。	74,635人	80,000人	85,800人		JR姫路駅観光案内所における利用者数を測定する。	348千人/年	355千人/年	362千人/年		姫路市内全鉄道駅（30駅）の年間乗車人数及びバス利用者を測定する。 （市内の1日あたり利用者数）＝（市内全駅の年間利用客数＋バスの年間利用総数）／（当該年度の日数）	310千人/日	310千人/日	310千人/日		姫路市内の主要交差点（60箇所）の朝・夕の渋滞長を測定する。 平成20年 73,990m → 平成26年 70,290mにする。	73,990m	72,140m	70,290m		姫路市内の死傷事故発生件数を調査する。 平成20年 5,056件 → 平成26年 4,550件にする。	5,056件	4,803件	4,550件	
	定量的指標の現況値及び目標値				備考																															
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)																																	
中心市街地における休日（4月29日）の歩行者通行量（7箇所の合計）を測定する。	74,635人	80,000人	85,800人																																	
JR姫路駅観光案内所における利用者数を測定する。	348千人/年	355千人/年	362千人/年																																	
姫路市内全鉄道駅（30駅）の年間乗車人数及びバス利用者を測定する。 （市内の1日あたり利用者数）＝（市内全駅の年間利用客数＋バスの年間利用総数）／（当該年度の日数）	310千人/日	310千人/日	310千人/日																																	
姫路市内の主要交差点（60箇所）の朝・夕の渋滞長を測定する。 平成20年 73,990m → 平成26年 70,290mにする。	73,990m	72,140m	70,290m																																	
姫路市内の死傷事故発生件数を調査する。 平成20年 5,056件 → 平成26年 4,550件にする。	5,056件	4,803件	4,550件																																	
全体事業費	合計 (A+B+C)	28,061百万円	A	26,773百万円	B	256百万円	C	1,032百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	3.7%																										

交付対象事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
2-A1-1	街路	一般	姫路市	直接	-	S街路	改築	(都)城北線	バイパス L=706m W=30m	姫路市						258	
2-A1-2	街路	一般	姫路市	直接	-	S街路	改築	(都)城北線(西工区)	バイパス L=455m W=30m	姫路市						1,500	
2-A1-3	街路	一般	姫路市	直接	-	S街路	改築	(都)内環状東線	現道拡幅 L=190m W=30m	姫路市						1,460	
2-A1-4	街路	一般	姫路市	直接	-	S街路	改築	(都)内環状東線(北工区)	現道拡幅 L=210m W=30m	姫路市						900	
2-A1-5	街路	一般	姫路市	直接	-	S街路	改築	(都)内々環状東線	L=115m W=25m	姫路市						505	
2-A1-6	街路	一般	姫路市	直接	-	S街路	改築	(都)内々環状西線	現道拡幅 L=352m W=25m	姫路市						70	
2-A1-7	街路	一般	姫路市	直接	-	S街路	改築	(都)内々環状南線	現道拡幅 L=160m W=20m	姫路市						250	
2-A1-8	街路	一般	姫路市	直接	-	S街路	改築	(都)船見線外1線	駅前広場・バイパス L=832m W=16~25m	姫路市						697	※
2-A1-9	街路	一般	姫路市	直接	-	S街路	改築	(都)亀山線	バイパス L=188m W=16m	姫路市						407	
2-A1-10	街路	一般	姫路市	直接	-	S街路	改築	(都)余子浜線	現道拡幅 L=63m W=15m	姫路市						28	
2-A1-11	街路	一般	姫路市	直接	-	S街路	改築	(都)高尾線	電線共同溝L=390m W=20.0m	姫路市						182	※
2-A1-12	街路	一般	姫路市	直接	-	S街路	改築	(都)高尾線	道路改良 L=390m W=20.0m	姫路市						70	
2-A1-13	街路	一般	姫路市	直接	-	S街路	改築	姫路城周辺地区	歴みち L=1005m	姫路市						200	
2-A1-14	街路	一般	姫路市	直接	-	区画	改築	姫路駅周辺地区（(都)内環状東線外）	区画整理 A=45.5ha	姫路市						7,583	
2-A1-15	街路	一般	姫路市	直接	-	区画	改築	阿保地区（(都)大日線外）	区画整理 A=90.6ha	姫路市						1,900	
2-A1-16	街路	一般	姫路市	直接	-	区画	改築	姫路駅周辺地区（(都)駅前幹線外）	区画整理 A=45.5ha	姫路市						80	※
2-A1-17	街路	一般	姫路市	直接	-	区画	改築	阿保地区（(都)市之郷線外）	区画整理 A=90.6ha	姫路市						80	※
2-A1-18	街路	一般	姫路市	直接	-	区画	改築	姫路駅周辺地区（JR山陽本線等(市)）	区画整理 A=45.5ha	姫路市						5,680	※
2-A1-19	街路	一般	姫路市	直接	-	区画	改築	阿保地区（JR山陽本線等(市)）	区画整理 A=90.6ha	姫路市						2,385	※

2-A1-20	街路	一般	姫路市	直接	-	区画	改築	飾磨地点地区((都)宮線外)	区画整理 A=約24.6ha	姫路市							108	
2-A1-21	道路	一般	姫路市	直接	-	市町村道	改築	(他)網干255号線	道路改良 L=240m W=12m	姫路市							211	
2-A1-22	道路	一般	姫路市	直接	-	市町村道	改築	(他)高岡1号線	バイパス L=660m W=7.0m	姫路市							330	
2-A1-23	道路	一般	姫路市	直接	-	市町村道	改築	(1)川手線	現道拡幅 L=442m W=16.0m	姫路市							319	
2-A1-24	道路	一般	姫路市	直接	-	市町村道	改築	(2)中仁野中屋線	現道拡幅 L=164m W=14.75m	姫路市							17	
2-A1-25	道路	一般	姫路市	直接	-	市町村道	交安	姫路市役所周辺地区(1)幹第7号線(安田~東延末)	自歩道整備 L=576m	姫路市							200	
2-A1-26	道路	一般	姫路市	直接	-	市町村道	交安	姫路市役所周辺地区(幹第3号線)西駅前町	自歩道整備 L=60m	姫路市							15	※
2-A1-27	道路	一般	姫路市	直接	-	市町村道	交安	姫路市役所周辺地区(幹第3号線)西駅前町	電線共同溝 L=60m	姫路市							45	※
2-A1-28	道路	一般	姫路市	直接	-	市町村道	交安	(他)白鳥57号線(大白書橋)側道橋	自歩道橋 L=60m W=3.0m	姫路市							150	
2-A1-29	道路	一般	姫路市	直接	-	市町村道	修繕	(2)幹第8号線	舗装修繕 L=900m W=14m	姫路市							24	
2-A1-30	道路	一般	姫路市	直接	-	市町村道	修繕	(2)幹第23号線	舗装修繕 L=400m W=17m	姫路市							20	
2-A1-31	道路	一般	姫路市	直接	-	市町村道	交安	幹第43号線	電線共同溝 L=900m	姫路市							85	
2-A1-32	街路	一般	姫路市	直接	-	S街路	改築	(都)市之郷線	現道拡幅 L=390m W=15m	姫路市							130	
2-A1-33	街路	一般	姫路市	直接	-	区画	改築	JR網干駅前地区((都)網干線外)	区画整理 A=5.0ha	姫路市							778	
2-A1-34	道路	一般	姫路市	直接	-	市町村道	改築	(1)川手線(南1工区)	現道拡幅 L=200m W=16.0m	姫路市							106	
合計																26,773		

B 関連社会資本整備事業													全体事業費 (百万円)		備考		
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)							
										H22	H23	H24	H25	H26			
2-B1-1	河川	一般	姫路市	直接	-	道路改良	外堀川整備事業	延長100m 川幅10~15m 河川環境整備1次	姫路市							256	※
合計																256	

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
2-B1-1	姫路駅周辺地区(2-A1-14)で整備する都市計画道路及び区画道路と一体となって、親水機能を向上させた河川の一体的整備を行い、歩行者に憩いの場・休息の場を提供する。															

C 効果促進事業													全体事業費 (百万円)		備考		
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)							
										H22	H23	H24	H25	H26			
2-C1-1	社会実験	一般	姫路市	直接	-	パーク&ライド	パーク&ライド社会実験	姫新線にて社会実験	姫路市							4	
2-C1-2	施設整備	一般	姫路市	直接	-	自由通路	JR姫路駅東側自由通路整備事業	L=100m W=16m	姫路市							398	※
2-C1-3	公共交通	一般	姫路市	間接	神姫バス	利用環境改善	バス停留所環境改善事業	情報改善他	姫路市							13	
2-C1-4	施設整備	一般	姫路市	直接	-	高架下整備等	バス待機場等整備事業	A=6,200㎡	姫路市							75	
2-C1-5	施設整備	一般	姫路市	直接	-	高架下整備	タクシー待機場等整備事業	A=2,800㎡	姫路市							62	
2-C1-6	施設整備	一般	姫路市	直接	-	駅広補充機能整備	バス・一般車乗降場等整備事業	A=0.45ha	姫路市							480	
合計																1,032	

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
2-C1-1	社会実験により、自動車から公共交通への転換を促し、中心市街地の交通環境改善及び中心市街地への人の誘導を図る。															
2-C1-2	JR姫路駅の南北を結ぶことにより安全で快適な歩行者ネットワーク機能の向上を図る。															
2-C1-3	バス停留所の上屋やわかりやすい情報案内を整備することにより、誰もが利用しやすい環境をつくり、公共交通への転換を促し、中心市街地への人の誘導を図る。															
2-C1-4	駅前広場の整備(2-A1-14,16,18)と一体的に高架下にバス待機場を設けることによって、駅前広場の待機車を削減し、中心市街地の交通環境改善を図る。															
2-C1-5	駅前広場の整備(2-A1-14,16,18)と一体的に高架下にタクシー待機場を設けることによって、駅前広場の待機車を削減し、中心市街地の交通環境改善を図る。															
2-C1-6	駅前広場(2-A1-14,16,18)と一体的に交通広場等を整備することにより、駅前広場機能の向上を図り、中心市街地の交通環境改善及び活性化を図る。															

その他関連する事業								
計画の名称	12	国際観光都市（姫路市域）における観光客や住民の移動の利便性・安全性の向上（防災・安全）						
事業種別		交付対象	要素となる事業名 （事業箇所）		市町村名		全体事業費 （百万円）	備考
12-A' 1-1	道路	姫路市	幹第6号線 外		姫路市		119	防災・安全移行先
12-A' 1-2	道路	姫路市	高岡102号線他3		姫路市		30	防災・安全移行先
12-A' 1-3	街路	姫路市	(都) 亀山線		姫路市		26	防災・安全移行先
12-A' 1-4	街路	姫路市	(都) 城北線		姫路市		332	防災・安全移行先
12-A' 1-5	街路	姫路市	(都) 城北線(西工区)		姫路市		739	防災・安全移行先
12-A' 1-6	街路	姫路市	(都) 内環状東線		姫路市		403	防災・安全移行先
12-A' 1-7	街路	姫路市	(都) 内環状東線(北工区)		姫路市		1,147	防災・安全移行先
12-A' 1-8	街路	姫路市	(都) 内々環状東線		姫路市		99	防災・安全移行先
12-A' 1-9	街路	姫路市	(都) 内々環状南線		姫路市		188	防災・安全移行先
12-A' 1-10	街路	姫路市	(都) 熊見線外1線		姫路市		93	防災・安全移行先
12-A' 1-11	街路	姫路市	(都) 姫路城周辺地区		姫路市		40	防災・安全移行先
12-A' 1-12	街路	姫路市	(都) 市之郷線		姫路市		455	防災・安全移行先
12-A' 1-13	道路	姫路市	姫路市役所周辺地区(1)幹第7号線(安田～東延末)		姫路市		200	防災・安全移行先
12-A' 1-14	道路	姫路市	(他) 白鳥57号線(大白書橋)側道橋		姫路市		150	防災・安全移行先
12-A' 1-15	道路	姫路市	幹第43号線		姫路市		85	防災・安全移行先
12-C' 1-1	計画・調査	姫路市	道路付属物点検(姫路市域)		姫路市		8	防災・安全移行先
12-C' 1-2	計画・調査	姫路市	路面性状調査(姫路市域)		姫路市		8	防災・安全移行先

A'	4,106 百万円	B'	0 百万円	C'	16 百万円	$(C+C') / ((A+A') + (B+B') + (C+C'))$	3.3%
----	-----------	----	-------	----	--------	---------------------------------------	------

(参考図面) 活力創出基盤整備

計画の名称	2 国際観光都市(姫路市域)における観光客や住民の移動の利便性・安全性の向上	交付対象	姫路市
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)		

姫路市 整備計画図



区	姫路市界
界	姫路市界
界	市界
界	D-1・D区(市界)
界	土地用途別区域
界	都市計画道路
界	都市計画道路
界	公園・緑地・遊歩
界	都市計画河川
界	平成26年2月現在

社会資本整備総合交付金チェックシート

(活力創造基盤整備)

計画の名称: 国際観光都市(姫路市域)における観光客や住民の移動の利便性・安全性の向上

事業主体名: 姫路市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①基本方針・上位計画等との適合等	
1)基本方針と適合している。	○
2)上位計画等と整合性が確保されている。	○
(該当するものに○) 1 国土形成計画全国計画 2 国土形成計画広域地方計画、北海道総合開発計画又は沖縄振興計画 ③ 社会資本整備重点計画 4 環境基本計画 ⑤ その他(以下の空欄に計画名を記載) 姫路市総合計画	
②目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係	
1)広域的特定活動により、目標達成の可能性が高い。	○
2)広域的特定活動の拠点としての拠点施設の位置づけが妥当である。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
4)拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業の一体性が確保されている。	○
5)地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
④事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
2)他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤計画の具体性	
1)拠点施設で広域的特定活動が実施される見込みが高い。	○
2)拠点施設整備を新たに行う場合、その蓋然性が高い。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1)民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	○
2)事業実施のための環境整備が図られている。	○